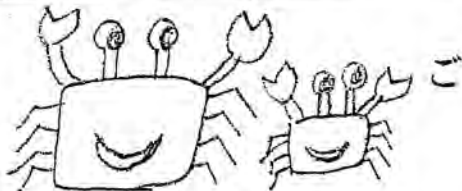


# 奈良・人と自然の会



## ごみ考 I

川井 秀夫

私はかねがね環境問題とは、人間の営み全てに内包されていると思っています。地球規模の問題から、我々日常生活における生活環境問題まで、枚挙に限りがありません。今回は生活の中の最大の難題である「ごみ問題」に焦点を当ててみました。

### 1 「ごみ」って何

ちり、あくた、ほこり、つまらないもの、無用のもの、通常「ごみ」と書き「ゴミ」とは書かない。 (広辞苑)

法律的には「廃棄物」といい、廃棄物とは、自ら利用し他人に有償で譲り渡す事の出来ない為不要になったもので、ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、糞尿、等の汚物、又は不要物で固形状又は液体のものを言う。(廃棄物処理法)

### 2 何故ごみは増えたのか

昭和35年を境に、経済発展と共に豊かな生活を享受したものの、「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」と言う社会システムが大きなツケをもたらす事となる。この間、人口増加は横ばいに推移するも、平成2年のピーク時まで増え続け、平成14年度にはやや漸減傾向にあるものの、このままでは、廃棄処理場の新設が、有害物質の排出、漏出の懸念から住民の反対により適地が少なくなり、限界を迎える。政府は平成12年度から持続可能な「循環型社会」の構築を呼びかけ、社会システムの再構築を迫られている。(平成14年度1年間のごみ排出量の統計値を示す)

一般廃棄物 5,161万トン 1人1日当たり 1,111kg

産業廃棄物 3億9,300万トン

これらの廃棄物は、再生できるものは再資源化し、それ以外のは焼却を中心とした中間処理をし、残余を埋め立て処分される。

### 3 生活スタイルの改善 4Rの実現

我が国の廃棄物処理の基本原則は ① 発生の抑制 (Reduce) ② 再使用 (Reuse) ③ 再生利用 (Recycle) ④ 熱回収 (Thermal recycle) である。

特に、リサイクルについては平成5年、容器包装・自動車・家電・建設・食品の法制化が進み、平成12年には発生抑制を重視、③ 再利用の仕組みを定めている。

最近、漸くレジ袋の有料化、マイバックの使用、ペットボトルの軽量化、サッカー場のリユース カップ、割り箸の品質改善が進み、分別費用（年間3000億円）の自治体負担の軽減策として、一部企業負担が取り沙汰されており、2007年にはリサイクル法を改善し、廃棄物の抑制に繋がるものとして期待されている。

次回はリサイクルについて、別な視点で、私見を含め考えてみたい。



## イカル

長野 晃

「赤けえべべ着」の聞きなしでお馴染み。樹上からちょっと間延びしたテンポの口笛のような響きのあるこの鳴き声が聞こえてきたらそれがイカルである。普通「アカベコキー」「キーコーキー」などと聞こえる。ムクドリ大のずんぐり型で名前の由来にもなっている太い黄色い嘴が際立つアトリ科の鳥。年中見かけるが、数が多く見やすいのは冬。エノキ、ムクノキ、ナンキンハゼなどの落葉した樹上でよく鳴いて居場所を知らせてくれるので見逃すことがない。頭部、翼と尾羽が艶のある黒色で全体は灰色っぽい。派手な色彩ではないが、陽に照らされると十分感動する美しさである。飛ぶと初列風切りの白色が目立ち、小刻みな翼動で浅い波状飛行を行う。（草地や林床に小群が下りて木の実や虫などを啄んでいる光景もよく目にするが、地上ではキョッキョツといった地鳴きしかしないので枯葉などに埋もれていて気が付かないことがあるので要注意である。）ところで奈良という土地柄もあってか、イカルの名前の由来、イカルと地名の斑鳩の関係について書かれたものを目にしたたり、説明を聞く機会も少なくないが、今ひとつ説得力がないものが多い。事実関係ははっきりしない点も多く、いろいろな説があるようだが、概ね以下のようなことではないかと思っている。『イカルの命名は嘴の稜がとがっている特長を表現した「いかるかど（稜る角）」から。それが「いかるが」に音変化。やがて漢字が入ったとき、間違ってジュズカケバトを表す「斑鳩」を当て（漢名のペリカンを表す「鶇」をウに当てたと同様のミス）、この鳥の多かったその地をも「斑鳩」の字を当て「いかるが」と呼ぶようになった。その後、鳥の名前はさらに「いかる」に変化（「枕草子」に「とりは・・・いかるがの雄どり・・・」とあることから、それは平安末期以降と思われる）、地名の斑鳩はいかるがのまま残り現在に至っている』



## 万葉集の植物

### え 「榎」 エノキ

寺田正博

わが門の榎の実もり食む百ち鳥

千鳥は来れど君そ来まさぬ

作者不詳（巻16 - 3872）

歌意は、わたしの家の門口の榎にはその実をついばむいろいろな鳥がやってくるが、わたしの待つあの方はおいでにならない、というものである。

エノキは「崇木」（たたえのき）説が生ずるように古来霊木とされている。それは巨木になるばかりでなく、宿り木がよくこの樹に寄生するからでもある。やどり木は神の悪代とされ、またまじないや呪いに用いられるからである。

江戸時代エノキが一里塚として道端に植えられた。今でもこれが巨木になって残っているところがある。これは、徳川時代一里塚に植える木について、将軍にうかがったところ「余の木を植えよ」と言ったものを聞き間違えて「えの木」を植えてしまった、という話がある。

エノキは日当たりの良いところに生える落葉高木で、大きいものは25mにもなる。葉は広卵形で、互生、先から1/3まで低い鋸歯、単葉、左右非対称、表は無毛、裏は褐色毛密生。実のつく枝の葉は小さい。老木はケヤキより横に枝を広げる。4～5月淡黄色の細かい花をつける。球状の実は橙色に熟す。昔の子供たちはこの甘い実を好んで食べた実の他に新芽、若葉も食用になる。材は建築、器具、薪炭に利用される。樹皮は通経、中風、葉は漆かぶれなどに薬用として用いられる。

エノキは榎と記されるがこれは国字で、夏によく葉が繁ってよい木陰つくることによる漢字は朴樹。和名、エノキの由来は、枝木、柄木、燃木、など諸説がある。

参考引用文献 「万葉植物事典」北隆館 「落葉図鑑」文一総合出版 他



## 「奈良・人と自然の会」

### キャッチフレーズ！

#### ★当会の目的

『奈良県における自然環境の保全と自然環境教育の  
実践を通じて、会員間の親睦と地域社会に貢献すること』

目的をアピールするキャッチフレーズを広く会員の皆様から  
募集します。奮ってご応募下さい。

締め切りは9月25日です。FAXか〒で送って下さい。

送り先： 川井 秀夫

\* 9月19日の自然観察会当日に提出いただいても結構です。



**I) 黒髪山キャンプフィールド自然塾**

当初は「バードウォッチング」を掲げてスタートしたのだが、事前打ち合わせの結果、餌付け台とバードコール制作の「クラフト」及びカブトムシ中心の「昆虫採集に」大きく分けた。7月24日(日)於黒髪山CF AM10:00~PM3:30.

イベントへの参加者大人14名・小人64名計78名。人と自然の会から5名が参加。

(小田・川勝・倉田・齋藤・樋口)

連日の晴天で、熱中症を懸念した。クラフトでは刃物を扱うため、けがを心配したが、何れも無事故に終わった。ペットボトルの加工では使用目的に依ってボトル自体が四角形か丸形を選択しなければならないことを気づかされた。

昆虫採集では目的の「カブトムシ」が全く見つからず、腐った木をひっくり返してもクワガタ虫さえいない。ナラやコナラの樹下で、全くの留守見舞いとなった。好天気続きで孵化が早く、幼虫さえもいなかったのだ。こうした天然林での採集には、時期を考慮した日時の設定が大切なことを知らされた。

圧巻は塾長から「カブトムシ」の生態に関する話と、既に捕獲してあったカブトムシで相撲や角突き合い等のアトラクションで盛り上がった。参加した子供たちも満足気に帰路についた。お土産は飼育箱用の止まり木に人気が集まった。

**II) 奈良県環境フェア**

日時 8月6日(土) 9時30分~16時30分

場所 大和高田市奈良県広域地場産業振興センター

制作 「セミ丸くん」「ヨシ人形」「鶯笛」「バードコール」

スタッフ 川井・川勝・甲斐野・倉田・小嶺・齋藤・相和・樋口・本郷・吉村

開幕当初大人ばかりで子供の姿はチラホラ!! 少子化の影響がここにも?と危惧したのが、完全に外れた。10時を過ぎた頃から押すな押すなの盛況となった。主催者側からは「子供の体験型」と言う要望を入れて、手をとっての教え方である。一種目二人の組み合わせで対応したのだが、「セミまるくん」のコーナーは行列ができたので、「バードコール」をセーブして応援に廻る。鶯笛は順番を待ちきれずに他へ回って行く子が多い。

今年はシニア自然大学研究科から応援があり、「ヨシ人形」の材料一式を贈呈いただいたのである。自然工作研究科の工藤さんの友情に紙上を借りてお礼申し上げます次第。

また、相和氏にはスタッフとして特別に参加していただいた。

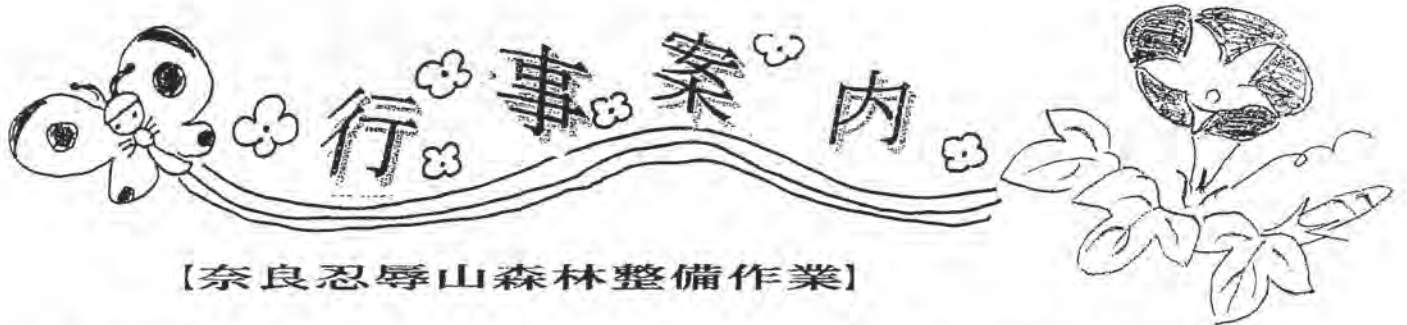
毎年昼食もままならない程多忙なので、今年は少しは余裕があるかと思われたが、来客は凡そ220名に及び(環境フェアの来客数は1500名) 昨年同様の多忙ぶりだった。9時30分~16時30分までの長時間を熱心に指導いただいたスタッフの方々にもお礼申し上げます。また、今年はブース内の背景に「人と自然の会」の活躍ぶりを写したパネルを2枚飾り、多少は当会の評価 up に役立ったと自負している。



# 地域情報



- ★ 竜田川下流（私達は鳥の楽園と呼んでいるところ）で7月中旬より連日ゴイサギとホシゴイ（親子）を見る。昨年まで気づかなかったのか？ゴイサギが昼に見られるのは繁殖期だけとの事。ササゴイの幼鳥をホシゴイと思い込んでいた。よく見ると1羽だけ首が長く、羽の模様も違っていた。しっかり確認することを学んだ。（勝田）
- ★ 竜田川の仲よし3羽（マガモ♂・♀・カルガモ・・・雑種？）が3年ほど前から共同生活をしている。1羽がいないなと思っていると何日かすると3羽がそろっている。毎日見ないと気になる子達だ。7月ごろよりそのオスの羽がなんだか汚くなってきた。写真で以前の羽と比べると確かに変わってきている。エクリプスの始まりだった。きれいな緑の顔もはげている。今では、ほとんどメス状態。エクリプスがこんなに身近に観察できてうれしかった。（勝田）



## 【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分  
淀川、木津川、白砂川の源流域）
- 〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）
- 〈日 時〉 9月 4日（日） 9時30分 第33回  
9月27日（火） 10時30分 第34回  
10月10日（祝） 9時30分 第35回  
10月25日（火） 10時30分 第36回  
〈終了予定〉 午後3時頃
- 【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス 平日〔月ヶ瀬温泉行き〕 土、日〔柳生行き〕  
JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
- |    |      |      |       |
|----|------|------|-------|
| 日曜 | 8:26 | 8:29 | 9:02  |
| 平日 | 9:30 | 9:33 | 10:06 |
- 臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物  
長袖着用。  
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

- 〈連絡先〉 弓場厚次  
阿部和生  
寺田正博



(実施報告) ・参加者

8月7日(日) 快晴 7名(男性 5名、女性 2名)

吉村さつき(初)、福谷れい子(初)、小森、中畑、福島(ピ)、弓場、阿部。

(ピ)は会員外

前日の大雨の後で空気も林間内は爽やかで、午前中は作業捗る。初参加の女性が2名ありおおいに作業雰囲気も和む。ほぼ現地域も終了の見込みになってきた。

【10月より】

現在の作業地の近くに変更になります。詳しくは10月号にてお知らせ致します。

今後ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

【感謝】 奈良生活協同組合より助成金を頂きました。有難うございました。



9月度例会

### 春日山原始林 (世界文化遺産) 自然観察研修会

春日山原始林の照葉樹林と奈良公園の自然観察研修会です。

普段は立ち入りを禁止されている春日山原始林の中を奈良県の許可を得て、照葉樹林の自然観察研修会をおこないます。

日時 9月19日(祝) 9時30分 午前7時警報発表時は中止

集合場所 近鉄奈良駅前 行基菩薩噴水横

観察コース 興福寺～飛火野～春日大社～春日山原始林(切割道)～若草山～東大寺。 周辺にて解散。

春日山原始林にはヤマビルが棲息しております。予防のためにヒルノックまたは、食塩水(2～3%)スプレーできるものをご持参下さい。出来ればですからも結構です。当会にて用意します。

持ち物 観察用具(フィールドノート、図鑑、ルーペ、双眼鏡他)

弁当、飲み物、雨具(傘、かっぱ)他

交通

難波	上本町	鶴橋	西大寺	近鉄奈良
8:28	8:31	8:38	9:05	9:10
8:37	8:40	8:43	9:11	9:17

担当 連絡先 弓場厚次  
寺田正博

第5回近畿自然歩道・まほろばの路

「金剛山麓文化を巡る道」

少し遅いかもしれませんが彼岸花の整然とした棚田が広がり、見ごたえがあるでしょう。縄文時代から弥生時代へ、そして飛鳥時代へ空想が無限に広がる、有史以前の神代の姿が想像できる絶好のロマン・コースです。

日時集合場所:平成17年9月24日(土) 午前10時15分 JR 五条駅北口

1時間に1本しか電車がありませんので遅れないように注意してください

交通 : 天王寺8:57-王寺9:24-高田9:40-五条10:11  
奈良、9:07-王寺9:24-高田9:40-五条10:11

行程 : JR 五条駅-五條市文化博物館-草谷寺-御霊神社上社-地福寺-御  
霊神社八幡社-鳳凰寺-西佐味-東佐味バス停、  
全行程10キロ、所要5時間

担当 : 有本倍美 川井秀夫



〈10月の予定〉

第6回近畿自然歩道・まほろばの路

[コース名] 葛城古道を歩く路

[日程] 10月22日(土)

[担当] 川井秀夫 有本倍美

10月度例会「赤目四十八滝」

[日程] 10月27日(木)

[担当] 大寺道代



## 平成17年度8月定例幹事会報告

平成17年8月5日(金) Pm5:30~8:00

奈良県女性センター

出席者: 川井、樋口、寺田、弓場、小山、古川、大石、豊島、三木、阿部(司会)、大寺(書記)11名。

### 【報告事項】

- ① 会員動向 会計報告 会員数: 95名 会計残金: 199,238円
- ② 7月度例会 生駒路樹林観察Ⅲ 7/14(木) 参加者8名 近鉄生駒線東山~平群の間は歴史的な場所が多い為、気候の良い時に再訪問したい。
- ③ 近畿自然歩道 まほろばの路「栄山寺と花の寺」7/20(水) 参加者15名  
コースは舗装道路が多く、暑さが厳しいが吉野川沿いの地道は涼しく、JR五條駅Pm4:30解散。  
※ 下見時、オオスズメバチを見る。ハチの被害は年間30~40人有り、6~8月に集中する為に十分な注意が必要。
- ④ 奈良・忍辱山森林整備作業 7月度2回の実施 7/6(水)6名 7/16(土)8名参加 整備作業は順調に進み、全体の1割弱を残してほぼ完了
- ⑤ 黒髪山C/F 自然熟 観察会 7/24(日) 大人14名 子供64名 計78名参加 午前は工作(ペットボトル餌付台)、午後はカブト虫捕獲他。
- ⑥ NPO法人 シニア自然大学地域部会  
ネイチャーすみのえ 武庫ネイチャークラブ ネイチャーたかつき ばらとかしの会  
千里ネイチャークラブ 奈良・人と自然の会 豊中支部 京とおうみの会 (計8地区)  
本部 長井理事長及び岡田・安倉担当理事と意見交換。
- ⑦ いこま棚田クラブ 7月度 9:30~13:00 5回作業実施。

### 【承認事項】

展示用パネル2枚作成(1. 活動スナップ(黒髪山観察会) 2. ある日の国有林間伐作業)

### 【討議事項】

- ① 奈良・人と自然の会 キャッチフレーズの選出について機関紙9月号(44号)にて会員に呼びかけ、募集する。応募作品より10月度幹事会にて選出する。
  - ② ならコープ活動助成金 申請が認可され、46,750円が助成される。10~11月に忍辱山で市民参加の間伐イベントを実施する予定。
  - ③ 9. 10月定例会行事予定確認
- |   |        |           |               |    |          |
|---|--------|-----------|---------------|----|----------|
| 例 | 会      | 9月19日(祭)  | 春日山原始林自然観察研修会 | 担当 | 寺田       |
|   |        | 10月27日(木) | 赤目四十八滝 紅葉     | 担当 | 大寺       |
|   | まほろばの路 | 9月25日(日)  | 金剛山麓文化を巡る路    | 担当 | 有本 川井    |
|   |        | 10月22日(土) | 葛城古道を歩く路      | 担当 | 川井 有本    |
|   | 森林整備作業 | 9月4日(日)   | 9/27(火)       | 担当 | 弓場 阿部 寺田 |

編集担当 : 勝田 均

Tel&F:

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫